

WHO ファクトシート

口腔保健

Oral health

ファクトシート No. 318

2012年4月

重要な事実

- ・世界的には、就学適齢期の子どもの60～90%、成人のほぼ100%が虫歯を持っている。
- ・虫歯は、口腔内に常時低レベルのフッ化物を維持することにより予防可能である。
- ・重度の歯周（歯肉）疾患は、歯の喪失につながる可能性もあるが、壮年期（35～44歳）成人の15～20%で発見されている。
- ・世界的には、65～74歳の約30%の人は、生来の歯を持っていない。
- ・子ども成人問わず口腔疾患は、貧困層や恵まれていない人達の間で罹患率が高い。
- ・口腔疾患へのリスク要因として、不健康な食事、喫煙、有害飲酒及び不十分な口腔衛生とともに社会的決定要因が含まれる。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権をWHO事務局長より付与され、WHO健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本WHO協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Oral health ファクトシート原文は [こちら](#)